



全ての技術を兼ね備えた 完璧なスケーターに

【生年月日】2003年5月5日 【出身地】神奈川県
 【主な出場大会・成績】
 2019 全日本フィギュアスケート選手権大会 3位
 2019 全日本フィギュアスケートジュニア選手権大会 優勝
 2019 ISU ジュニアグランプリフランス大会 優勝
 2018 全日本フィギュアスケート選手権大会 6位
 2018 全日本フィギュアスケートジュニア選手権大会 5位
 2018 ISU ジュニアグランプリアルメニア大会 2位
 2018 ISU ジュニアグランプリカナダ大会 4位
 2018 アジアンオープントロフィー(ジュニア) 優勝
 2018 全国中学校スケート大会 2位
 2017 全日本フィギュアスケートジュニア選手権大会 12位



Vol.8 特別編

かぎやまゆうま

鍵山優真

フィギュアスケート

フィギュアスケートを始めたきっかけ

お父さんがフィギュアスケートをやっていたので、その影響で始めました。
 氷に初めて乗ったのは3歳の時。最初はお父さんがレッスンをしているそばで、リンクの上で遊んでいました。滑るのが楽しくて5歳から練習を始めましたが、その頃の楽しかった気持ちは今も変わりません。

競技の難しいところ

競技の難しいところは、考えたことがありません。難しいことは、嫌にならずに挑戦したいと思っています。
 今シーズンショートプログラムでピアノの曲を使用しているのですが、指先の動きと表情作りに苦戦しました。楽しい曲にこやかな表情より、悲しい表情は難しいです。でも、表現の練習を毎日やっている、切り替えができるようになってきました。

試合前のルーティーン

小学校高学年から、なぜか分からないけれど毎日の習慣で、靴は左足から履きます。右利きなんですけれどね。
 試合前のルーティーンは無いです。この音楽を聴くとか、これを食べるといいう物もありません。
 試合では緊張感を保っていますが、あまり緊張しすぎないようにコントロールしています。

演技中に考えていること

難しいことをきちやちや考えないと余計な気持ちになるので、練習でおいにやろう、楽しもうと、いつも考えています。練習は

うそをつかない」。ちよつと不安や緊張はあるけれど、それをどうするかで結果が決まってくると思います。

曲選び

僕は踊るのが好きで、音楽が流れてくると踊りたくなります。「この曲で踊りたいな」。

楽しい明るめのアップテンポの曲が好きです。しっとりとした曲はあまり使ったことがなかったのですが、今シーズンのショートプログラムで挑戦しています。実際使ってみると「意外と好きかも」と思いました。

ジュニアになってからは、振付師の佐藤操先生が自分に合った何曲かを選んできてくれて、その中から決めていきます。ショートプログラムもフリープログラムも、シーズンごとに変えます。

振り付けの覚えは、最初は遅かったけれど、徐々に早くなってきました。先生は、まず基本的な足元の部分を作ってから、手の振り付けをします。同時には難しくできない時があります。

衣装のこだわり

ちゃんと相談に乗ってくれて、僕の考えが伝わる衣装専門の方に依頼しています。
 一度曲に合わせた振り付けを見てもらい、どういふイメージで、どんな感じで作りたかを相談します。

動いたときにきれいに見えるように、「振付でこういう動作が多いから、この部分の生地を伸ばしてほしい」とか、「この色で、ここにこのストーンを付けたい」とかですか？」とか。

多くの選手は、その曲のドラマや映画を観て衣装を考えていると思うのですが、僕は曲だけのイメージで決めていきます。今のショートプログラムは「砂の器」というドラマの曲で、肌色や茶色を連想すると思うのですが、初めて曲を聴いた時、青っぽいなって。ピアノの静かなきれいな曲だから、青い衣装にしました。



国際大会でのエピソード

びつくりしたことは、ホテルの選手専用の朝ごはんが、感動するくらいおいしかったです。一番おいしかった国はオランダです。海外で絶対食べるのが、スクランブルエッグとパンケーキ、あとソーセージ。試合前でもあまり気にせず、つい食べ過ぎてしまいました。

以前、試合が終わって夜中の3時頃、ホテルから空港までバス移動していた時。外国人の先生が自身の選手を呼んだのに、呼ばれたと勘違いして寝ぼけてついて行ってしまい、佐藤先生が止めてくれたと聞きました。海外での一番の笑い話です。

目標の選手とライバル

日本人選手で一番の憧れは、宇野昌磨選手です。好きな所はスケートティング。よく滑っていて真似したくなります。表現がきれいで目標にしています。外国人選手だとネイサン・チェン選手。ジャンプをお手本にしています。でも一番見ているところは踊り、踊れる選手の中でも、しっかりと曲をとらえているので凄いなと思います。

ライバルはやっぱり佐藤駿選手。ノービスからずっと一緒です。お互い切磋琢磨して成長して、良いライバルで良い友だちです。近い存在では三浦佳生選手。もともとと同じ



「2019全日本フィギュアスケートジュニア選手権大会」
圧倒的な得点差で見事優勝！



理想のスケート

将来的には、全ての技術を兼ね備えた完璧なスケーターになりたいです。ジャンプもそつですが、スピンのステップも大事。完璧って言われるくらいになりたいです。
この前の全日本ジュニアで1位になりましたが、世界を見るとまだまだなので、もっと上を目指したいです。

クラブで、彼の方が先に4回転を飛びました。今、中学2年生でボテシヤルがすごいなって。刺激になっています。
試合直前まで、いつも通りワイワイ騒いでいます。僕らの世代は、みんな仲が良くって明るいです。仲間にも恵まれました。みんなが頑張っているから頑張ろうと思えます。

学業と練習

スケートの練習がしやすい環境をつくるために、今の高校に入りました。学校に自分の目標を理解してもらっているの、感謝しています。

得意科目は体育。苦手な科目は数学と理科。スケートの数字にはこだわらけど、学校の数字は興味がないです。国語とか社会の方が好きだと思います。

オフの日

今シーズンは忙しくて。試合の次の日が貴重な休日です。僕は「オフ」体力の回復といった感じです。とにかく休んで休憩して、次の日からまた頑張る。うまくリフレッシュしています。

将来像

将来の大きな目標はオリンピックで金メダル。
今シーズンの目標は、今後全ての試合で表彰台に上がる事です。これからの試合は世界トップレベルの選手しかいない試合なので、そこでしっかり表彰台を目指したいです。自分で決めたことなので、しっかりとやるなとずっと思っています。

みなさんへ メッセージ

いつも応援していただきありがとうございます。感謝の気持ちを伝えたいです。

将来的には、フィギュアスケートを見たことのない方や興味のない方も、僕の演技を見て興味を持っていただけたらいいなと思います。観客を魅了して、あこがれてもらえる選手になりたいです。頑張ります！

横浜銀行アイスアリーナ

夢は大きく!! フィギュアスケート選手への道

3歳から氷上に乗っていたという鍵山優真選手の記事や活躍をみて、スケートに興味を持った方も多いのではないのでしょうか。
横浜銀行アイスアリーナでは、幼児から大人まで、各種スケート教室を開催しています。また、専属インストラクターのレッスンを受けて、大会に出場している選手もいます。同じリンクで練習して、フィギュアスケート選手への道を目指してみませんか。

選手：本格的に習ってみよう

インストラクターとのレッスン
当リンク専属のインストラクターは10名以上。教室生から選手になり、公式戦や国際大会出場など多くの選手が活躍しています。

定期教室参加者：教室に通ってみよう

定期教室(3歳～大人)：月4回1セットで開催
ワンデー教室(18歳以上)：火曜日～金曜日に開催
一年を通じて各種スケート教室を開催しています。カテゴリー分けされているので、初心者の方も安心です。

一般利用者：気軽に体験してみよう

一般滑走(10:00～18:30)：15cm～32cmの貸靴あり
わくわく体験教室(4～6歳)：月2回程度、水曜日開催
短期教室(4歳～大人)：春休みやGWなどに開催
初めてでも氷に慣れることから楽しくスケートを体験できます。

クイズに答えて

「横浜銀行 アイスアリーナ 無料招待券」プレゼント



横浜銀行アイスアリーナの貸靴の一番小さいサイズは15cmですが、一番大きいサイズは何cmでしょう？

- ① 30cm
- ② 32cm
- ③ 34cm
- ④ 36cm

プレゼント応募方法は、P15の読者アンケートページをご覧ください。
正解は「横浜銀行アイスアリーナホームページ」にて3月上旬に掲載します。

【春休み短期教室】

- 開催日
Aコース：3月26日(木)～30日(月)
※29日(日)を除く4日間
Bコース：4月1日(水)～4日(土)
2月13日(木)10時からHPにて受付開始。
詳しくはHPをご覧ください。
(2月上旬掲載予定)